



お住まいの役立ち情報

良い家の選び方



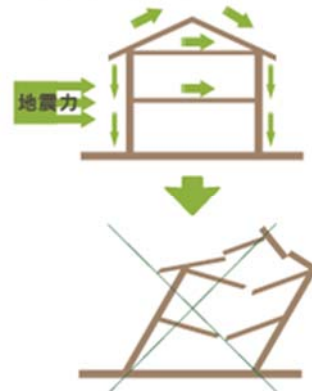
長期優良住宅を選ぼう

長期優良住宅は、「耐震性」「省エネルギー性」など、法律で定められた9つの基準を満たした長持ちする家です。長持ちする家ですから年をとったところに建て替え！なんてリスクも少なく、「耐震性」＝家族の安全、「省エネルギー性」＝冬暖かく夏は涼しいので住んでいて快適、その上さらに、税制優遇もあります。もちろんどんな家かにもよりますが、税制優遇で10年間で250万円以上の優遇措置が受けられます。長期優良住宅であれば優良住宅支援制度（フラット35S）で住宅ローン金利0.3%の優遇を、通常10年間のところ20年に延長されます。

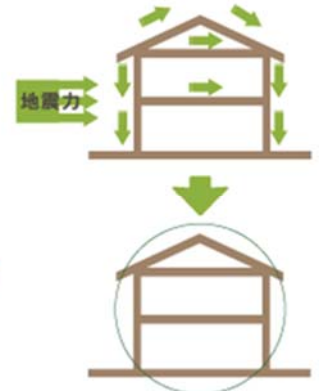


高耐震 高い水平力で地震に強い。

●水平力が弱いと…



●水平力が強いと…



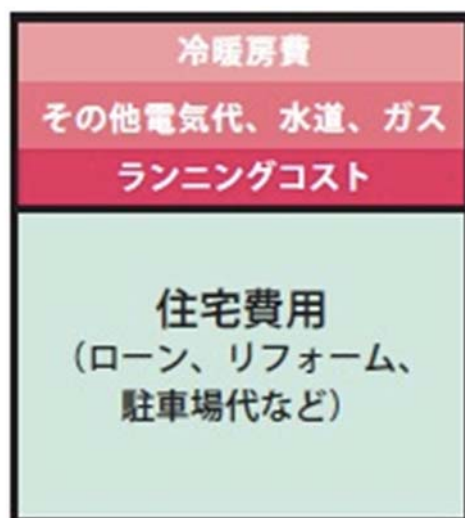
安全性は大前提で選ぼう

家は、家族の安全と命を守る存在でなければいけません。日本という風土の中で、家が果たす役割は、自然災害から家族を守ること。地震大国と呼ばれる我が国で、どのような技術であれば家族の安全が守られるのか？また、安全で頑丈な造りであれば、何を使用しても良いという訳にもいきません。家族の健康を支えながら、安心して安全に住める家づくりをすることが大切です。家を建てるとなると、やはり建物に興味が行ってしまいがちですが、建物の耐震性能だけでなく建物を支える基礎と地盤にも注意しましょう。

価格の仕組みを知っておこう

注文住宅は構造上不可能でない限りは、皆さんのご希望通りに建てる事が出来ます。天井の高さをセンチ単位で指定することも出来てしまいます。大事なのは、どんな希望をしたらどのように値段が変わるのか、その仕組みを知っておくことです。

住宅のコストは「原材料費」「手間賃」「経費」の3つで変わります。例えば標準の規格から柱の高さを10cm変えると、原材料費はカットした部分のロスとその加工費用でかなり上がってしまいます。打ち合わせや建築途中での変更が増えると経費が増えます



家の価格は「燃費」も考えよう

車を選ぶときって、1リットルで何キロ走るかは大事なポイント！ですよね？ハイブリッドカーはちょっと高いけど、5年くらいで考えるとガソリン代を考えるとそちらの方が実は安かったり。

家だって、暮らすためにかかる費用があります。

車よりもずっと住みつづけるマイホームなのだから、家の燃費はとても大事なポイントです。

では、家の燃費ってなんでしょうか？家の選び方で大きく変わるのは光熱費。冷房暖房などのランニングコストが燃費にあたるのです。

これから電気代があがっていくことが心配されていますが、一般の家で今の電気代で30年間の光熱費を計算すると500万円以上かかっているのです。

